

第 20 回鳥学講座

デジカメ時代にふりかえる^{しもむらけんじ}下村兼史の野鳥生態写真
～その資料整理と保存～

講師：塚本洋三 山階鳥類研究所 客員研究員

今日ではデジタルカメラが普及し、カラー写真撮影は誰にでも簡単に楽しめます。その昔は、写真といえばモノクロ写真であり、撮影媒体はガラス乾板やフィルムを使っていて、カメラを扱うのは特殊技術と考えられました。野鳥を撮るには撮影技術とともに鳥の生態や習性に熟知した方がよく、フィールドで必要なものはシャッターチャンスを待つ膨大な時間と忍耐とでした。



そんな時代に、被写体として主に野鳥を選び、生涯を生態写真撮影と自然科学映画制作に打ち込んだその道の日本の草分け下村兼史（1903 - 1967）がいます。下村の没後、写真資料（ガラス乾板、ネガ・ポジフィルム、プリント、映画フィルムの一部および文字資料）のほとんどが、遺族により山階鳥類研究所に寄贈されました。

今回の講演では、同研究所の鳥学資料の中でもユニークな 11,878 点におよぶ「下村兼史資料」の 4 年間にわたる保存整理作業とその結果を、パワーポイントを使ってご報告します。マルチタレント下村自身にも言及しながら、併せて下村のモノクロ作品を、DVD 画像で本邦初となる一挙公開したいと思えます。モノクロ生態写真にみる下村ワールドを堪能していただければ嬉しいです。

■会場で下村兼史およびその資料についてご質問できなかつた方は、(財)山階鳥類研究所の下村兼史資料提供窓口である(有)バード・フォト・アーカイブス(塚本)へ直接ご遠慮なくどうぞ。

Tel: 03-3866-6763 http://www.bird-photo.co.jp/4_rental.html

mail: info@bird-photo.co.jp

●講師プロフィール

1939 年東京都生まれ。山階鳥類研究所客員研究員。

(有)バード・フォト・アーカイブス社長。

専門はコンサーベーション(ミシガン大学大学院修士課程終了)。

日時：平成 22 年 10 月 23 日(土) 午後 2 時 45 分～4 時 15 分

場所：アビスタ(我孫子市生涯学習センター)ホール

主催：我孫子市鳥の博物館・(財)山階鳥類研究所